148

B 米國

△支那ノ自信ニ聾ノ日本政府

（九月五日ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン紙社説）

東京カラノ情報ニ依ルト、日本ハ漢口ノ陷落ヲ一段落トシテ守勢作戰ニ出テ、支那派遣軍ノ主力ヲ蘇滿國境ニ移動サセ、殘留部隊テ占領地區ヲ固メ、新政權ノ融合統一ヲ圖リ、國民政府ノ自滅ヲ待タウトスル案カ、過般ノ五相會議ニ上程サレタソウテアル。此ノ政策モ十箇月モ早カツタラ成功シタカモ知レナイカ、今カラテハ失敗ニ歸スルタラウ。

何故ナラハ支那軍ハ敗戰ニモ拘ラス士氣更ニ衰ヘス日本ヲ經濟的ニ屈服サセル迄戰爭ヲ續ケル丈ノ自信ヲ持ツテ居ルカラテアル。日本ノ希望卽チ支那ハ敗戰テ列國ノ道德的物質的及外交的援助ヲ喪フコトニナリ、結局日本ニ屈服スルタラウト言フノハ大間違ヒテ、澎湃タル列國ノ對支同情カ解ラナイ日本政府當局者ハ聾テアルニ違ヒナイ。

6

第一ニ日本軍カ蘇滿國境ニ移駐シテ支那方面カ手薄スニナレハ、蘇聯ハ支那軍ヲ嗾ケテ攻勢ニ轉シサセルタラウシ、第二ニ既ニ支那ニ權益ヲ有スル列國ハ自己保全ノ爲飽迄對支援助ヲ續ケルタラウ。

日本ノ所謂對支開發工作ハ、在上海米國居留民カラ國務省ヘ打電シテ來タ通リ、結局事業獨占ト差別待遇ノ形式ヲ執ルコトハ明ラカテアル。然シコノ遣方ハ今後列國ト幾多ノ紛爭ヲ生シ結局ハ日本ニ不利テアル。

17

C 佛國

△佛ノ對獨軍備強化

（九月五日「アヴァス」電）

國際情勢及獨逸ノ佛國東北國境方面ヘノ兵力裝備大強化ニ鑑ミ、佛國政府ハ種々對策ヲ講シ、就中要塞兵力充實ノ爲豫備兵ノ召集及休暇中ノ將兵ノ召還等缺クヘカラサル警戒的處置ヲ執ツタ。

△平和解決ノ責任ハ「ズ・ド」黨ニ

九月六日佛國各紙ハ、五日發表ノ豫備兵召集ハ必要ナ技術兵派遣ノ爲テ一般的ノモノテハナク、從テ年度別召集テハナイ。異ナル年度及地方ニ屬スル者ヲ少シ宛召集スルモノテアルト報シタ。又「チエッコ」問題ニ關シ、「チエッコ」側ハ既ニ最大限度ノ讓歩ヲシテ居ルカラ、平和解決カ出來ルカ否カノ責任ハ「ズデーテン」黨側、延テハ獨逸側ニアルトノ趣旨ヲ頻リニ強調シ、「ニュルンベルグ」大會ニ於ケル「ヒトラー」總統ノ演説ヲ待受ケテ居ル。「チエッコ」問題ノ緊張ニモ拘ラス、共産黨機關「ユーマニテ」紙ハ相變ラス四十時間勞働制問題ヲ大キク取扱ツテ政府攻撃ヲ事トシテ居ル爲、五日ノ「[illegible]」紙ハ急進社會黨ニ對シ、人民戰線ノ分裂ヲモ敢テ惧レスニ國家的政策ヲ遂行スヘキテアルト勸告シテ居ル。